

対応状況報告書

大 学 名： 香川大学

評価実施年度： 令和4年度

報 告 年 度： 令和7年度

対象となる基準	基準5-3
改善を要する点	○ 医学系研究科看護学専攻博士前期課程及び工学研究科博士後期課程において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。
対応状況	<p>・医学系研究科看護学専攻博士前期課程：0.73倍（令和3～7年度）と改善されている。</p> <p>上記の改善を要する点の指摘に対して、本課程においては、令和2年度に助産学コース（募集人員6人）を、令和5年度に公衆衛生看護学コース（募集人員4人）を設立したことで、以前に比べて安定的に学生を確保できる体制となった。また、広報活動にも注力している。これらのことが、入学者数が改善した要因と考えている。</p> <p>【根拠資料・データ】</p> <p>・認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式2（令和7年5月1日現在）</p> <p>・工学研究科博士後期課程</p> <p>大学院改組を行い、令和6年4月に工学研究科、教育学研究科、法学研究科、経済学研究科を統合した文理融合の創発科学研究科（博士後期課程）を設置し、初年度の定員充足率100%を達成した。創発科学研究科の設置に伴い、令和6年度以降の工学研究科博士後期課程の学生募集を停止した。</p>

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「II 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。

4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。